



発行：「NAGASAKI 1945～アンゼラスの鐘～」製作を支援するナガサキの会 TEL.090-3604-2301(里) FAX.095-849-7131(三根)
：製作委員会長崎事務局/長崎県映画センター 〒850-0024 長崎市大井手町24番地 TEL095-824-2974 FAX.824-2958

堂々完成！全国に先駆け完成披露上映会を開催！！

「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」の完成披露上映会は待ちに待った支援者、協力者をはじめ多くの市民が参加する中、県南（長崎市）、県央（諫早市）、県北（佐世保市）の3地域で盛大に行われ5,500人が鑑賞しました。

初日の長崎ブリックホール大ホールでは長崎ハンドベルコミュニティの皆さんによるテーマ曲の演奏で開会しました。

はじめに製作委員会を代表して寺島氏から、完成が遅れたことのお詫びと、支援へのお礼が述べられ、続いて「支援する会」の土山会長からは、支援者へのお礼と製作スタッフへの労いと共に完成の喜びが表明され、多くの人たち、特にこれからの時代を担う若い人たちに、ぜひ観てほしいとの願いと、英語版製作へのさらなる支援の訴えがありました。

その後、虫プロダクションの伊藤社長により5人の製作スタッフの紹介がありました。



<多くの人に参加した長崎ブリックホール会場>

伊藤健太郎さん（声優：秋月辰一郎役）

「原爆を体験したことのない自分が、その世界に生きた人物を演じるということで、非常に想像力を働かせました。ぜひ、自分の想像力を働かせながら、この映画を観て欲しい。人の痛みを想像する力があれば、今、この世の中に蔓延している悲しい出来事はなくなると思います。」



<舞台あいさつする製作スタッフの方々>

大川慶子さん（声優：村井看護婦役）

大川さんは福岡県の出身で、長崎の短大で学び、長崎のテレビ局でアナウンサーとして5年間勤務されていた経験を踏まえての参加です。

「松谷訴訟を通して、被爆者のお話を聞く機会が多くありました。同じ九州でも福岡と長崎では温度差を感じましたが、それではいけないなと痛感しました。」

藤田正明さん（製作プロデューサー）

小野隆也さん（キャラクターデザイン・作画監督）

有原誠治さん（脚本・監督・絵コンテ）

「僕たちが自由に表現できるということは、平和があつてこそです。戦争や原爆の体験を描き表現することは、辛く重い作業です。しかし、きっちり向きあつて表現する、伝えていくことが、直接戦争の犠牲になった方々に代わって次の世代の私たちが、その次の世代にバトンタッチすることではないかと思ひます。」



<平和推進協会のご厚意で展示された原爆パネル>



<製作委員会の井上さんと有原監督/チトセピア会場>